

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
コベルプラスふれあいキッズみのわ教室		R7年 10月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		(未回答1)	現状で法的に問題はないがゆとりがない体制となっている。職員体制が厳しいときに代替え制度があれば良いと感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	見やすい場所に提示し、提示したことについて声掛けを行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	日々、室内のアルコール消毒や整理整頓を行っている。加えて、定期的に安全点検を実施し、ヒヤリハット情報を共有することで、万が一の場合にも迅速に安全な環境を整えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	朝礼時や定期的な職員会、その都度話し合いの場を設けている。また療育の合間時間を使って情報の共有と記録が見れることで確認が出来るようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	朝礼時や職員会、療育の合間の時間を有効に使い、行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	(未回答1)	第三者による評価が受けれるようにしていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	コベルや社内の年間計画に沿って、社外研修や内部研修が行われている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	以前から職員会ノートを活用し、各自が内容を確認していた。また、保護者のHUG入力時に計画が閲覧できるようになったことで、さらに情報の共有が進んでいると感じる。	HUG上で指導員や保護者が計画を見れるようになったことで、個別支援計画の共有が進み、課題の達成状況や新たな課題が明確にわかるようになり、良かったと感じている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	個々の様子を互いに伝え合い、聞き合える場を作るよう努めている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	コベル自体でプログラムは設定されている。 個々の様子によって職員同士で話し合い、課題の変更や見直しを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	職員体制が厳しい状況でも、顔を見ながら内容や役割分担について話し合いを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	翌朝の朝礼時や、記録ノートの確認を通して共有が図れるようにしている。	時短勤務の職員や放デイが開始時間の関係で、すべてを療育後に行うのが難しい場合がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	職員会ノートで記録、定期的な見直しを行い、改善に繋げていくよう努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	児童発達支援管理責任者が適した計画を立てている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	保護者や療育現場に入る児童発達支援管理責任者が、指導員の情報も含めて会議に参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	児童発達支援管理責任者が行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	1	(未回答1)	受ける機会を定期的に作れる体制が出来ると良い。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		2	2025年5月3日に地域を巻き込んだイベントを開催することが出来た。 (未回答1)	職員が出向いて交流の機会を設けることはあるが、保育園や幼稚園と同時刻では対応が厳しいと感じる。機会は少ないが、地域の中ではイベントを通じて活動できる場を作っている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	児童発達支援管理責任者が保護者からの相談に応じて個々に報提供を行っている。 (未回答1)	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	契約時に必ずお伝えしている。変更があった場合は言葉がけを行うとともに、部屋の入口の壁に再掲し、随時閲覧できるようにしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	職員体制が限られていると時間が作れず難しいが、出来るだけ話ができる時間を作るように心掛けている。移行支援（繋げる場所）への提案も相談員と連絡を取りながら行っている。	限られた職員状況の中で、療育が出来るよう努めてきたが、FC教室であっても代替え職員にヘルプが要請できる体制が整うことが望ましい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	0	昨年の状況を踏まえ、お子様と一緒に参加する形で2025年9月に開催予定。	昨年の保護者会は少人数で実施されたが、子どもを預けるのが難しいご家庭は参加できず、残念であった。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	何気ない会話からも保護者の意向をくみ取れるように努め、できるだけお話の機会を設けるとともに、保護者の都合に合わせて話し合いの時間を作るようにしている。	職員体制によっては保護者と話せる時間を作ることが厳しくなる状況があり、大変心苦しく感じた。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	広報担当職員が定期的に発信している。法人全体で広報を作り、ご利用家庭はもちろん、地域や市町村、相談員や保育園・幼稚園へも配布を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	個人情報は職員全体で意識をし、防犯面でも施錠や時間を決めてロックすることを留意をしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	可視化（写真や絵等）やジェスチャーなど非言語的コミュニケーションが図れるように、いつもの様子やしぐさなどを常に職員間で共有を行っている。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	0	草刈りをしに来て頂く地域の方がいる。2025年5月3日のイベントでは近隣や地域住民にお声をかけ多くの方に来場して頂くことが出来た。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	曜日を変え、大勢の利用児に訓練体験をして頂く機会を設けている。また、訓練を実施したことを写真や声掛けで周知している。	園域が異なり、利用時間帯もそれぞれ異なるため、全員一緒に訓練を行うことは難しい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0	支援会議や職員会の時に、随時確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	指示書が出ているお子様は現時点ではないが、食に関わるイベントでは随時確認を行っている。また、フェイスシートへの記入があった際には、職員間で情報を共有している。	食に関わるイベントや状況では、必ず個々に確認を行ってから提供をしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	契約時に必ずお伝えをしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	安全点検は定期的に行っている。またヒヤリハットがあった場合はすぐ対処している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	研修での考察や記録を通じて内容を確認するとともに、ケース会議の中で職員が話し合える場を設けている。	十分な職員体制を確保し、職員が落ち着いて支援できる環境を整えることで、子どもへの適切な関わりを維持できると感じた。

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0	契約時には必ず説明を行い、理解の確認のうえ同意書をいただいている。また、個別支援計画は、各お客様の状況に応じてオーダーメイドで作成している。	
--	----	--	---	---	--	--